

修了生の活躍事例

求職期間という“今”しかできない。

前職は食品卸業の会社で配送業務を行っていましたが、趣味の自動車の改装やパーツ選別などで独立を考えていました。しかしそれには溶接技能の習得が必要でした。コロナで今後の予定が空いたこともあって、今しかないと思い、ハローワークの失業保険説明会で知ったポリテクセンター三重の溶接技術科に入所しました。

前職：食品卸業、配送業務（正規）

溶接技術科（6か月訓練）

令和2年11月修了

株式会社モリタ東洋

谷本 茂輝さん（50）

現職：溶接工（正社員）



独学では難しい基本作業と知識をゼロから学べる。

本格的に溶接を学ぶのは初めてでしたが、溶接を少し知っていたこともあり、とにかく楽しかったです。訓練の多くは溶接作業の実技でしたが、実技に必要な知識もゼロからしっかり教えてくれました。特に溶接記号といった図面の知識は、今の仕事でも役立っています。

海外での就業も視野に入れたい。

体力的にきつい仕事ではあるので、最初は毎日疲れていました。しかし、毎日の食事など生活全般を見直し、今では仕事の疲れを克服できたと思います。溶接は一度身に付ければ場所は選びません。以前から考えていた海外での就業も視野に入れつつ、日々のスキルアップに努めていきます。

就職先企業での活躍

谷本 茂輝さんの業務

主に消防関連の製品の組み立てや溶接をしています。例えば、はしご車に使用されるフレームなどの溶接です。緊急時など、命を預かる場面での使用が想定されることもあって緊張しますが、やりがいがあります。



採用者の声

常務取締役 立川 雅喜 様

ポリテクセンターには企業側から訓練生に面接の要望を出せる制度（リクエスト求人）があり、これを利用しました。現在当社では修了生2名が即戦力として活躍中です。谷本さんは技術的に伸び代があり、スキルアップの意識が高いです。今後も修了生の採用を期待します。



株式会社モリタ東洋（三重県伊賀市） 現在ポリテクの修了生2名が活躍

創業約120年、消防車のトップクラスメーカーであるモリタホールディングスのグループ企業です。消防車輛、衛生車などの特殊車輛の製缶部品の製造などを行っています。具体的にはモリタ製の消防車や衛生車のタンクなどです。